

令和6年度 委員会活動報告

ケアステーション藤が原



ケアステーション藤が原では、全職員がそれぞれの委員会に所属し、サービス向上やリスクマネジメント等に取り組んでいます。令和6年度からご利用者の安全確保、介護サービスの質の向上、職員の負担軽減を図るため生産性向上委員会を新設しました。ICT機器を導入し、ケース記録のタイムリーな入力、ペーパーレス化、データを活用した介護の推進等に役立てます。また、引き続きの感染予防対策の徹底や、自然災害等への備えも行いました。各委員会より、令和6年度の活動内容を報告させていただきます。

感染症予防対策委員会

新型コロナウイルスやインフルエンザなど、感染症予防対策の周知徹底や、感染予防マニュアル、業務継続計画の見直しを行いました。施設で感染症が発生したことを想定したガウン・マスクやゾーニング訓練の実施、感染症予防についての内部研修も実施しました。有事の際に必要なマスクやガウンなど衛生材料の備蓄調整も行いました。

その他、入居者の定期健康診断（採血、胸部レントゲン、心電図、検尿）や新型コロナウイルス、インフルエンザ、肺炎球菌のワクチン接種も実施しました。

褥瘡予防対策委員会

褥瘡予防対策委員会では、褥瘡の予防ケアに重点をおき、体重の増減や栄養状態の把握、福祉用具の適正な使用や体圧分散のための姿勢保持などの検討を行いました。また、発症後の早期改善のため、ケアの見直しや医療処置のほか、排泄用品の選び方やあて方、皮膚洗浄液の使用など、研修を全職員を対象に4回実施しました。

令和6年度の褥瘡発症者
（実人数7名 延人数15人）
臀部2名 仙骨部3名 大転子部2名
腸骨部4名 背部1名 手背部3名
※令和7年3月31日現在、皆様治癒されており、有症者はいません。

身体的拘束適正化検討委員会 虐待防止委員会

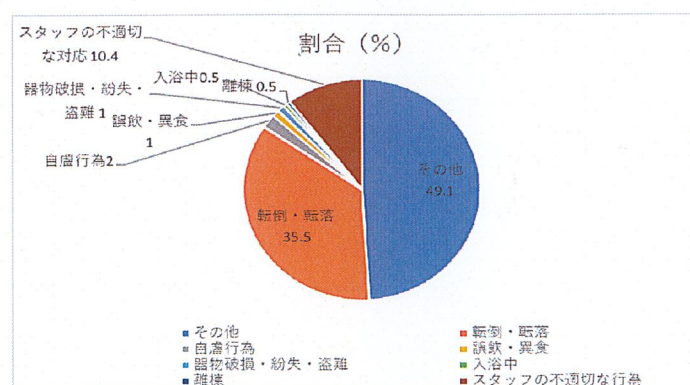
「身体拘束ゼロ」「虐待防止」に向けて取り組みを行っています。令和6年度の具体的な活動内容は以下の通りです。
・身体拘束、虐待防止のための内部研修の実施
・虐待防止及び身体拘束等の適正化のための対策を検討する委員会の開催
・委員会での検討結果の周知
・マニュアル、指針の見直し
・適切な福祉用具が使用されているかの確認と福祉用具の点検、清掃など

地域貢献・地域交流委員会

【主な活動内容】
・ユニットリーダー研修受入れ
・常磐大学看護実習受入れ
・飯富中学校との交流会
・リリーベール小学校との交流会、駐車場の貸し出し
・「藤が原マルシェ」「藤が原夏祭り」の実施
・藤内神社「夏越祭」、「飯富まつり」、「藤が原秋祭り」への参加
・飯富地区ミックスバレーボール大会への参加
・献血への協力
・地域の皆様へ施設の庭の開放
・講師の派遣等

事故防止委員会

事故防止委員会は、定例会議の他、多職種が集うミーティングで、発生した事故の検証と改善対策の立案、実施後の評価について協議しました。令和6年度の事故発生件数は、202件で内訳は左記の通りです。今後もご利用者が安全に生活できるように、事故の予防と再発防止に努めてまいります。



環境美化委員会

環境美化委員会の活動について報告を致します。

【定期清掃】
・職員玄関、下駄箱、更衣室
・エレベーター室内、ダムウォーター荷室
・ゲストルーム、職員休憩室、職員トイレ
・汚物処理室、倉庫の換気扇、特浴室
・エアコンフィルター
・非常階段、避難用滑り台
・各ユニットの共有部（レンジフード、コンセント周り、排気口フィルター、換気扇、エアコンフィルター等）

【施設周辺美化活動】
・花壇の手入れ、草取り
・ゴミ拾い

防災委員会

令和6年度の自衛消防訓練は【総合訓練】（出火場所の特定、初期消火、通報、避難に至る一連の流れ）、夜勤者と宿直者のみで行う【夜間想定避難訓練】を含む計6回実施しました。

総合訓練では、迅速かつ安全に避難する方法を確認し、夜間想定訓練では、限られた人数で避難誘導を行いました。また、防災の意識を高めることを目的に停電時の対応方法についての【停電訓練】や、火災時の煙を模した【煙体験訓練】、地震時に「自分の身を守る安全行動」についての【地震想定訓練】や、食品、日用品の備蓄状況についての確認も行いました。

また、大規模災害など緊急事態が起きた際のリスク管理として、事業継続計画の見直しも行いました。

ご意見・苦情についての報告

令和6年度、ご利用者、ご家族より寄せられた苦情は3件でした。内容としてはケアの内容に関わる事項について1件、職員の態度、接遇に関して1件、面会の状況に関して1件でした。今後も皆様の声を大切に、サービス向上に努めます。

ユニットケア推進委員会 生産性向上委員会

個別ケアの実践と環境づくりに取り組みました。

【主な取り組み】

○施設内の改善すべき箇所を確認、改善を実施し、ご利用者の生活環境を整えました。ご家族にも家具の持ち込み等で協力していただきました。
○業務上の問題点を掘り起こし、改善策を検討・実施しました。

○ICT機器（アイパッド）の導入

今後もユニットケアを通じて、ご利用者の「その人らしい暮らしの継続」を支援してまいります。

広報・行事委員会

広報委員会では、ご利用者の様子を中心に、毎月「藤が原通信」を発行しました。また、施設の取り組みや内部研修の様子など多くの情報を発信できるように努めました。

行事委員会では、季節を感じていただくことを目標に行事の企画運営を行いました。

7月 セタイイベント 8月 夏祭り
9月 敬老会 12月 忘年会
3月 ひな人形展
その他ユニットごとに様々な行事を実施しました。

栄養マネジメント会議

主な活動内容は次の通りです。
○栄養ケアプランの立案・見直し・検討（多職種で協議）
○おいしく・楽しく食べて頂ける食事作り（行事食やデイナーショーの実施、イベント食の実施）



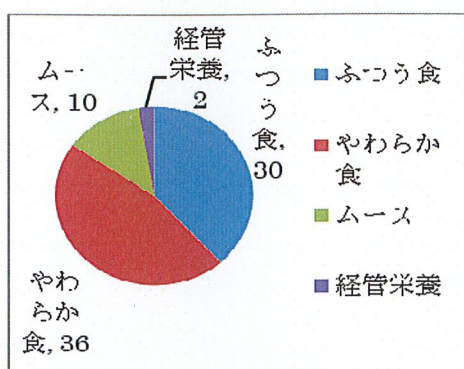
6月 特別献立



開設祝い膳

○食中毒予防対策として、マニュアルの確認と見直しを行いました。また、主な食中毒菌について理解を深め、正しい対策をとることで食中毒の発生を防ぐことができました。引き続き、安心・安全な食事提供に努めて参ります。

尚、令和7年3月31日現在の特養入居者（入院者は除く）の食事形態は次の通りです。



○ふつう食【30名】
○やわらか食【36名】
○ムース食【10名】
○経管栄養【2名】